

In-Sight® OPC クラシックサーバ 5.8.0 リリースノート

© Copyright 1999-2019 Cognex Corporation. All rights reserved.

Revision: 5.8.0.3, 2019 November 18

概要

本書は、Microsoft® Windows® 用の In-Sight OPC クラシックサーバについて説明します。本書は次のトピックから構成されま

す。

- [In-Sight OPC クラシックサーバについて](#)
- [システム要件](#)
- [インストール](#)
- [サンプルプロジェクト](#)
- [既知の問題](#)

注: 最新のリリースノートやドキュメンテーション (各国語版も含む) は、[In-Sight サポート](#) でダウンロードできます。

In-Sight OPC クラシックサーバについて

In-Sight OPC クラシックサーバは、バージョン 1.0 または 2.0 の [OPC 仕様](#) に基づき、OPC クライアントから In-Sight スプレッドシートのセルデータへのアクセス方法を提供します。「OPC タグ」をスプレッドシートのデータセルに挿入することで、OPC クライアントは In-Sight のセルデータを得ることができます。タグをセルに適用し、さらにそのタグとその関連値を公開するよう In-Sight OPC クラシックサーバの設定をすると、OPC クライアントがデータにアクセスできるようになります。OPC タグをセルに追加する手順、および、これらのタグを公開するようにサーバを設定する手順については、『In-Sight® Explorer ヘルプファイル』を参照してください。

注: In-Sight 2000 シリーズは、In-Sight OPC クラシックサーバをサポートしていませんが、In-Sight OPC UA サーバをサポートしています。詳細については、『EasyBuilder ヘルプ』ファイルをご参照ください。

システム要件

この節では、In-Sight OPC クラシックサーバのシステム要件について説明します。

PC ハードウェア最小および推奨要件

注:

- ハードウェアの最小要件とは、In-Sight の処理負荷が低い環境で、解像度の低い In-Sight ビジョンシステムを 1 台だけ接続している PC を指します。
- 推奨されるハードウェア要件とは、同時に 4 台までの In-Sight ビジョンシステムを接続している PC を指します。

最小要件	推奨要件
1.8GHz 動作の Intel® Celeron® 1000M プロセッサ (または同等品)	2.7GHz 動作の Intel® Core™ i7 プロセッサ (または同等品)
2GB の RAM 空き容量	4GB の RAM 空き容量
4GB のディスク空き容量	8GB のディスク空き容量

最小要件	推奨要件
24 ビットカラーで解像度 1024×768 の表示が可能なビデオカード。画面の DPI 設定は 96 DPI に設定します。	32 ビットカラーで解像度 1920×1080 の表示が可能なビデオカード。画面の DPI 設定は 96 DPI に設定します。
In-Sight ビジョンシステムに接続するためのネットワークインタフェースカード (100Mbps 以上)	複数の In-Sight ビジョンシステムに接続するためのギガビットイーサネットネットワークインタフェースカード

オペレーティングシステム要件

In-Sight ソフトウェアは、次のオペレーティングシステムで動作することを確認しています。

- Microsoft Windows 7 Professional、サービスパック 1 (64 ビット)
- Microsoft Windows 10 Professional (64 ビット)
- Microsoft Windows Server 2016

In-Sight OPC クラシックサーバはそのほかのオペレーティングシステムでも動作することがありますが、前述の要件を満たさないシステムはサポート対象外です。

言語サポート

- 中国語 (簡体字)
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- 日本語
- 韓国語
- スペイン語 (ヨーロッパ系)

サポートしているファームウェアバージョン

In-Sight 5.8.0 ソフトウェアには、次のファームウェアバージョンが含まれています。

- In-Sight 5.8.0
- In-Sight 4.10.5 PR2

以前のファームウェアを搭載している In-Sight ビジョンシステムは正常に動作することもあります。サポートされていない機能があり、また十分にテストが行われていません。最適なパフォーマンスを得るには、In-Sight Explorer ソフトウェアおよびファームウェアは、最新バージョンを使用してください。モデル一覧およびサポートされているファームウェアバージョンについては、英語版 In-Sight Explorer オンラインヘルプの「Firmware Versions」(ファームウェアバージョンのトピック)をご参照ください。英語版 In-Sight Explorer オンラインヘルプのデフォルトロケーションは、C:\Program Files (x86)\Cognex\In-Sight\In-Sight Explorer 5.x.x\Documentation\Help\Help_ISE_EN.chm です。

In-Sight ファームウェア 5.8.0

- In-Sight 5705 および 5705C ビジョンシステム
- In-Sight 7000 Gen2 シリーズビジョンシステム
- In-Sight Micro 8000 シリーズビジョンシステム
- In-Sight 9000 シリーズビジョンシステム
- In-Sight Advantage Engine

注: In-Sight 2000 シリーズは、In-Sight OPC クラシックサーバをサポートしていませんが、In-Sight OPC UA サーバをサポートしています。詳細については、『EasyBuilder ヘルプ』ファイルをご参照ください。

In-Sight ファームウェア 4.10.5 PR2

- In-Sight Micro 1000 シリーズビジョンシステム
- In-Sight 5000 シリーズビジョンシステム (In-Sight 5705 および 5705C ビジョンシステムを除く)
- In-Sight 7000 シリーズビジョンシステム (In-Sight 7000 Gen2 シリーズビジョンシステムを除く)

インストール

In-Sight OPC クラシックサーバをインストールするユーザには、フル管理者権限が必要です。

注: In-Sight OPC クラシックサーバを、Microsoft .NET Framework 3.5 を無効にしたシステムにインストールを試みているときに、Windows Update が処理中の場合、エラーメッセージが表示されることがあります: Error installing Microsoft .NET Framework; Error code 0x800f081f このエラーが発生した場合、Windows Update が完了するのを待って (再起動が必要です)、In-Sight OPC クラシックサーバをインストールしてください。

Windows サービス

バージョン 3.2.0 以降の In-Sight OPC クラシックサーバは Windows サービスとして動作します。一度に有効にできるバージョンは 1 つだけです。したがって、OPC クラシックサーバの複数のバージョンをインストールしている場合、1 つのバージョンしか動作しません。アクティブなサーバを変更するには、In-Sight OPC Manager (C:\Program Files\Cognex\In-Sight\In-Sight OPC Server 5.x.x\OpcServiceManager.exe) を実行します。このユーティリティでは、現在インストールされているすべての OPC クラシックサーバの中から 1 つをアクティブに設定することができます。

サンプルプロジェクト

In-Sight OPC クラシックサーバのサンプルプロジェクトは、次のフォルダにインストールされます:

C:\Users\Public\Documents\Cognex\In-Sight\In-Sight Sample Projects 5.x.x。[スタート] メニューから、サンプルフォルダのショートカットにアクセスすることができます。

既知の問題

注: Cognex テクニカルサポートを介して報告された既知の問題を追跡しやすくするために、該当する場合に番号が付与されています。

問題#	問題
ES-22	In-Sight OPC クラシックサーバは OPC 仕様の OPC データアクセスバージョン 3.0 をサポートしません。OPC Foundation が提供する OPCNetApi アセンブリは、誤ったサーババージョンを検出し、接続に失敗したり、既存の接続を切断したりすることがあります。 回避策: OPCNetApi アセンブリを参照する OPC クライアントを作成する際に、OpcConnectData.AlwaysUseDA20 フラグが適用される新しいカスタムファクトリを作成する必要があります。
10378	標準ユーザアカウントで In-Sight OPC サーバの起動または停止を試みると、UAC についてのダイアログが表示されず、失敗します。 回避策: ユーザアカウント制御 (UAC) を [コントロールパネル] (ユーザアカウント) から有効にしてください。
10315	通知領域のアイコンを右クリックして、In-Sight OPC クラシックサーバを停止した場合に、サーバは依然として動作状態であるとステータスバーに表示されることがあります。
9869	複数バージョンの In-Sight OPC クラシックサーバがインストールされている (4.10.1 と 5.2.0 など) 状態から、バージョン 4.10.1 をアンインストールすると、OPC クラシックサーバ 5.2.0 が機能しなくなります。 回避策: Windows の [コントロールパネル] を開き、In-Sight OPC クラシックサーバ 5.2.0 インストールソフトウェアを選択し、修復します。または、In-Sight OPC クラシックサーバ 5.2.0 をアンインストールしてから、再インストールすることもできます。
7867	In-Sight OPC クラシックサーバ 4.x および 3.x の両バージョンがインストールされている場合に、バージョン 3.x をアンインストールすると、GiveServicePath: InstallUtil returned an error code of -1 というエラーメッセージが表示されることがあります。 回避策: In-Sight OPC クラシックサーバ 4.x をインストールする前に、バージョン 3.x をアンインストールしてください。In-Sight OPC クラシックサーバ 4.x がすでにインストールされている場合、バージョン 3.x をアンインストールした後、Windows の [コントロールパネル] を開き、In-Sight OPC クラシックサーバ 4.x インストールソフトウェアを選択し、修復します。